

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2014.04.No200

4月号

目次

会長再任にあたり	1
特集 平成26年 定時総会報告	2
平成26年度 建築士 定期講習	
受講案内	4
実行委員会報告	5
〔まちづくり・情報〕	
青年・女性の窓	6
〔No.65 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会〕	
支部だより	7
〔千歳・士別・釧路〕	
道士会の動き・information	8
URL http://www.h-ab.com/	



会長再任にあたり

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

暦の上では春とは言え、北海道の4月は肌寒い日が続いておりますが、会員の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、皆様には日頃から本会の運営にご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、この度、3月28日に開催されました総会、その後の理事会におきまして、会長に選出されましたので、紙面をお借りして一言ご挨拶させていただきます。昨年は、東日本大震災の復興のさなか消費税の改正による確認申請の駆け込み、さらには東京オリンピックの決定による建設需要の高まり等により、人手不足、資材の高騰など私たち建築界をとりまく環境は大きく変化をいたしました。ほんの少し前までは、年間80兆円の建設投資額が半減したことを憂い、箱モノ行政と揶揄された建設投資の自粛、さらには過当競争による原価を割り込む受注が続き、しっかりと技術力を保持する建築技術者が建設業界に見切りをつけ、安ければ良いという風潮に「足元が明るいうちに」と店をたたむ建設会社も多く見てまいりました。そのような会社こそ残って頑張してほしい真面目さと高い技術力があっておられます。そして、その結果、阪神淡路大震災の復興当時と比較してみると建設業界全体の力量は落ち、現在の東日本大震災復興の現状につながっていると考えております。今、私たちは、才能溢れる若者が他業種に流れることなく、建築を志向するように建築界をやりがいと魅力あるものにしていかなければなりません。そのなかで建築技術者のベースの部分である建築士資格者を統括する本会の役割は非常に大きく、その責務をしっかりと果たしていく必要があります。このことを踏まえ、今期は次の2点に軸足を置き、より魅力ある建築士会を皆様とともに目指してまいります。

1. 仲間を増やそう

本会の会員は、建築士資格者の年代別構成と同様に60歳以上の方が約50%を占めており、今や、それら団塊の世代が社会経済活動から徐々に離れていく時期になってきております。一方、若い方達がなかなか建築士免許を取得できない実情もあります。我が国全体を見ても人口減の方向ですから、致しがたいことかもしれませんが、建築士会としては、その社会的役割をしっかりと堅持していく上で、会員の減少傾向に危機感をもって当たらねばなりません。本年も、昨年から本格的に始めた会員増強運動と組織強化を皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。

2. 活動の幅を広げよう

本会では、良好な景観の形成を目的とした景観法に基づく景観整備機構への指定について、北海道と調整を行っておりますが、今年度も引き続き、北海道をはじめ他の景観行政団体とも協議をしております。また、本年は新たに、地域に眠る歴史的建造物の保全と活用を推進することにより、地域固有の風景を回復し誇りの持てる地域づくりに貢献することを目的としてヘリテージマネージャーの育成に取り組む準備を進めてまいります。東日本大震災から3年、応急危険度判定士の皆さんは、役に立つことが無いように祈りながらも震災に備えた訓練を積んでいます。この応急危険度判定業務が震災時にしっかりと機能するように、パイロット的に、支部とその支部の所在する行政機関とが協定を結ぶ等、連携を強めより実効性のある仕組みを構築していきます。

今期も、従前から申し上げておりますように「会員のためになるのか」をひとつの物差しとして本会の施策を進めていく所存でおります。会員の皆様のご理解とご支援を改めてお願い致しまして会長就任の挨拶とさせていただきます。

平成26・27年（一社）北海道建築士会役員名簿

役職	支部名	氏名		役職	支部名	氏名		役職	支部名	氏名	
会長	札幌	高野 壽世	再任	副会長	札幌	吉木 隆	再任	副会長	札幌	鈴木 基伸	再任
統括理事	旭川	石川 吉博	再任	統括理事	函館	山内 一男	再任	統括理事	北見	庵 敏幸	再任
専務理事	札幌	鈴木 功一	再任	常務理事	札幌	松崎 健児	再任	常務理事	札幌	長谷川敏文	再任
常務理事	札幌	井上 勝己	再任	理事	札幌	西岡 誠	新任	理事	旭川	萩川 正人	新任
理事	十勝	神田 光英	新任	理事	苫小牧	佐藤 芳則	再任	理事	札幌	針ヶ谷拓己	再任
理事	小樽	本間 恵美	再任	理事	札幌	牛田 健一	再任	理事	札幌	久島 正嗣	再任
理事	美幌	増田 正好	再任	理事	北空知	川口 弘	新任	理事	苫小牧	北村 啓	新任
監事	札幌	山崎 清司	再任	監事	恵庭	成田 茂利	再任				

平成26年(一社)北海道建築士会定時総会報告

定時総会開催 役員改選により5名の理事が新任される

日 時：平成26年3月28日(金) 14時30分～17時00分
 会 場：ホテル ポールスター札幌 2F セレナード
 (札幌市中央区北4条西7丁目)

出席者：代議員 42名中 29名出席
 議 事

事務局より代議員の過半数が出席していることを報告し、総会の開催宣言の後、塩川顕児氏(網走支部)が議長に選出され、また、議事録署名人として、関川修司氏(北広島支部)と早川陽子氏(小樽支部)が選出された後、理事者側から第1号及び第2号議案の提案及び説明があり、逐次審議を行った結果、いずれも原案どおり可決されました。また、今年は役員改選期であるため第3号議案で提案し、理事21名と監事2名が選任されました。

事務局



議 案

- 【議案第1号】平成25年一般会計事業報告及び収支決算
- 【議案第2号】平成25年特別会計事業報告及び収支決算
- 【議案第3号】役員改選について

議案第1号及び2号の主だった内容は以下のとおり

【議案第1号】

◆平成25年一般会計事業報告

『委員会所管事項』

◎ 総務委員会

- ・組織運営の適正化に係る対応
- ・関係機関との意見交換会等の実施
- ・建築関係団体との連携
- ・専攻建築制度等に関する事項
 申請：20名 21領域、必要に応じ評議会等開催
 専攻建築士登録者数：242名
- ・建築士会継続能力開発(CPD)制度の促進
 新CPD参加登録者 1,047名
 CPDプログラム評議会及び同部会の開催等
 第38回全道大会(恵庭大会)
 第56回建築士会全国大会(しまね大会)
 表彰の実施、赤レンガ建築賞への共催等

◎ 事業委員会

- ・「第56回建築技術講習会」(旧寒地建築技術講習会)開催
 全道 4会場：受講者 83名
- ・「一級建築士試験受験者講習会開催」：受講者 9名
- ・「第57回寒地建築技術講習会」開催準備
- ・支部事業の活性化に向けた支援事業の検討

◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」(185号～196号発行)
- ・ホームページの運用
- ・全道大会分科会 支部情報発信についてワークショップ等

◎ 青年委員会

- ・「全道青年委員会連絡会議」札幌市開催：参加者 76名
- ・「青年建築士の集い」札幌市開催：参加者 69名
- ・「ブロック協議会活動」4ブロック協議会会議 計12回開催
- ・「青年サミット」恵庭市開催：参加者 82名
- ・「社会貢献活動」
 新さっぽろアークシティ サンピアザ光の広場で開催
- ・「建築士の日のイベント」【建築のお仕事体験】等
 参加者(一般市民)846名
- ・全道大会分科会の実施

◎ 女性委員会

- ・各ブロック活動 勉強会・見学会等の開催を支援
- ・全道大会分科会の実施
- ・女性建築士の集い開催 札幌市開催 参加者 30名
- ・「地域における住教育実践推進業務」の実施
 ①「建築士による家庭科住教育出張講座」2校 4クラス

②「家庭科住教育出張講座講師養成セミナー」

- 札幌市開催：参加者 16名
- ・全国女性建築士連絡協議会への参加 東京都開催
- ・渡島・檜山地区高等学校家庭科部会研究協議会
 「住教育セミナー」開催 受講教師：11校 14名

◎ まちづくり委員会

- ・第3回まちづくりセミナー 滝川市開催
- ・「高校生建築デザインコンクール」
- ・「高校生建築甲子園」応募1件(札幌工業高校)
- ・連合会会議への参加
- ・応急危険度判定制度の検討
- ・全道大会分科会の実施

◎ 被災地応急支援特別委員会

- ・応急危険度判定ネットワークの構築
 全道大会時に連絡網への登録を呼びかけ 50名追加
 合計登録者 156名
- ・応急危険度編低訓練への参加
 旭川市 参加者 5名 函館市 12名参加

『事務局所管事項』

- ・一級、二級、木造建築士試験の実施

試験種別	合格者(名)	合格率(%)	
		北海道	全国
二級	137	13.1	19.5
木造	2	20.0	28.7
一級	69	6.4	12.7

- ・一級、構造・設備設計一級建築士登録等の業務
 新規 87件 事項変更等 174件
- ・二級・木造建築士登録等の業務
 新規 162件 事項変更等 246件
- ・応急危険度判定士認定関係 12月末有効認定者数 3,166名
 応急危険度判定士認定講習会 16会場開催 受講者 410名
- ・建築士定期講習
 12会場開催 受講者数 814名
- ・「すべての建築士のための総合研修」の開催
 札幌のみ開催 受講者 17名
- ・「第46回建築基準法講習会」開催
 全道 19ヶ所：受講者 1,343名
- ・ドライクリーニング工場調査の協力
 調査件数：35社

◆特別会計事業報告

- ・事業募集・採択・連合会活動センターへの申請
 応募及び採択 2団体2事業

*各事業報告の後収支決算報告と、成田監事による監査報告が行われた。

◆平成25年度収支決算報告

貸借対照表

平成25年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	44,358,570	33,241,766	11,116,804
未収金	1,399,000	5,904,360	△ 4,505,360
未収金	3,903,256	1,249,883	2,653,373
貯蔵品	876,225	306,297	569,928
立替金	387,120	208,690	178,430
前払費用	174,281	255,900	△ 81,619
流動資産合計	51,098,452	41,166,896	9,931,556
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	6,725,651	6,771,517	△ 45,866
財政調整積立預金	46,631,198	45,906,420	724,778
大会積立資産	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	54,356,849	53,677,937	678,912
固定資産合計	54,356,849	53,677,937	678,912
資産合計	105,455,301	94,844,833	10,610,468
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	1,322,330	4,295,983	△ 2,973,653
未払金	78,449	0	78,449
前受金	4,474,900	5,658,800	△ 1,183,900
前受金	14,184,600	12,000	14,172,600
預り金	1,523,720	1,010,522	513,198
流動負債合計	21,583,999	10,977,305	10,606,694
2. 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	6,725,651	6,771,517	△ 45,866
固定負債合計	6,725,651	6,771,517	△ 45,866
負債合計	28,309,650	17,748,822	10,560,828
III 正味財産の部			
一般正味財産	77,145,651	77,096,011	49,640
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(47,631,198)	(46,906,420)	724,778
正味財産合計	77,145,651	77,096,011	49,640
負債及び正味財産合計	105,455,301	94,844,833	10,610,468

正味財産増減計算書

平成25年1月4日から平成25年12月31日まで

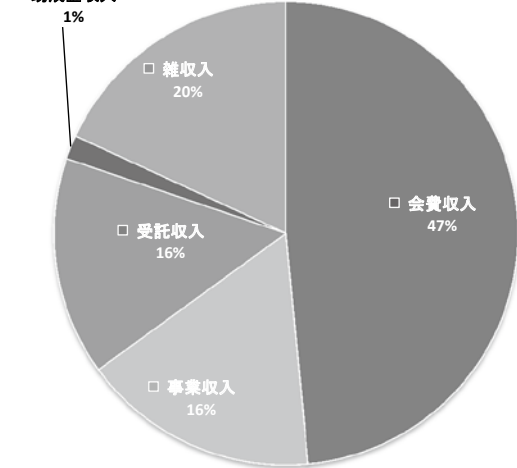
一般社団法人 北海道建築士会

(単位：円)

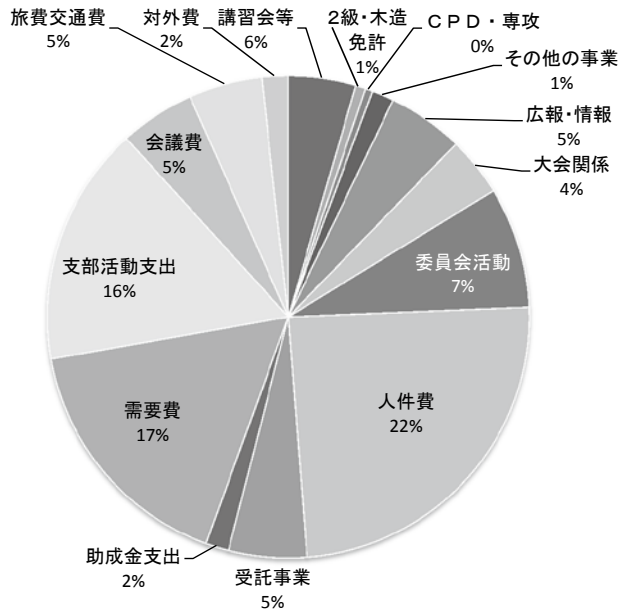
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収益	69,684,800	74,808,350	△ 5,123,550
事業収益	23,695,945	24,733,425	△ 1,037,480
受託収益	21,919,070	24,393,471	△ 2,474,401
助成金収益	2,392,000	2,299,420	92,580
退職給与引当金戻入	247,228	646,100	△ 398,872
受取補助金等	100,000	100,000	0
雑収益	25,978,963	32,753,728	△ 6,774,765
経常収益計	144,018,006	159,734,494	△ 15,317,616
(2) 経常費用			
事業費用	107,746,641	128,721,090	△ 20,974,449
講習会等費用	5,783,329	9,452,828	△ 3,669,499
二級・木造建築士登録等業務費	853,740	968,379	△ 114,639
継続能力開発制度費	394,998	530,109	△ 135,111
専攻建築士制度費	230,372	382,299	△ 151,927
その他事業費	1,901,543	2,195,129	△ 293,586
広報・情報費	6,483,329	6,786,329	△ 303,000
大会関係諸費	5,073,470	7,460,413	△ 2,386,943
委員会活動費	10,374,713	11,149,275	△ 774,562
人件費	28,096,358	28,459,033	△ 362,675
受託事業費	6,686,122	6,829,701	△ 143,579
助成金	1,978,864	7,693,141	△ 5,714,277
需要費	19,420,743	22,319,229	△ 2,898,486
雑費	20,469,060	24,495,225	△ 4,026,165
管理費	36,221,725	42,546,133	△ 6,324,408
人件費	3,057,429	5,317,076	△ 2,259,647
会議費	6,442,662	8,745,595	△ 2,302,933
旅費交通費	6,286,556	6,327,614	△ 41,058
需対外	1,844,407	1,457,930	386,477
雑費	2,254,321	2,894,865	△ 640,544
運合	234,100	906,783	△ 672,683
運合	16,102,250	16,896,270	△ 794,020
経常費用計	143,968,366	171,267,223	△ 27,298,857
評価損益等調整前当期経常増減額	49,640	△ 11,532,729	11,582,369
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	49,640	△ 11,532,729	11,582,369
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
退職給与引当金繰入	0	51,970	△ 51,970
経常外費用計	0	51,970	△ 51,970
当期経常外増減額	0	△ 51,970	51,970
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	49,640	△ 11,584,699	11,634,339
一般正味財産期首残高	77,096,011	88,680,710	△ 11,584,699
一般正味財産期末残高	77,145,651	77,096,011	49,640
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	△ 1,500,000	1,500,000
指定正味財産期首残高	0	1,500,000	△ 1,500,000
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	77,145,651	77,096,011	49,640

◆収入の状況

■ 助成金収入



◆支出の状況



◆役員の改選について

任期満了に伴う役員の改選が行われ、平成26年・27年の役員として、理事21名、監事2名が選出された。

同日、総会後に新役員による理事会が開催され、会長・副会長・専務理事が選出された。

あわせて、役員の役職等についても報告された。

◆報告事項

平成25年12月6日開催の平成25年第5回理事会において承認された平成26年一般及び特別会計事業計画及び収支予算について、事務局より主要内容を報告した。

平成26年度 第一期 建築士定期講習 受講案内

建築士事務所に所属する一級建築士、二級建築士又は木造建築士は、3年毎に国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う、一級建築士定期講習、二級建築士定期講習又は木造建築士定期講習（以下「建築士定期講習」という）を受けることが義務付けられています。※平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）に第1回を修了された方は、今年度が更新の受講年度となります。

定期講習受講による特典

本会が開催する定期講習を受講された方へは、北海道建築士会本部が主催する講習会を対象に受講翌年の3月31日迄有効な割引券（受講は1回限り）を発行します。※建築士定期講習は対象外です。
（割引券は、定期講習当日に配布します。）

◆割引額 会員 2,000円 会員外 1,000円

講習案内

【講習日及び講習会場】

（定員に満たない場合は受付期間を延期する場合があります。建築士会本部事務局へお問い合わせください。）

	開催地	開催日	講習会場及び所在地	会場コード	定員	受付期間
第一期	札幌市	5月20日(火)	北海道第二水産ビル 札幌市中央区北3条西7丁目	1A-01	300名	4月1日～ 4月30日
	旭川市	5月21日(水)	旭川勤労者福祉会館 旭川市6条通4丁目	1A-02	80名	
	北斗市	5月28日(水)	北斗市総合文化センター「かなで〜る」 北斗市中野通2丁目13番1号	1A-03	80名	

【受講申込関係書類の配布】 ※プレ印字（平成26年度申込書に限る）された申込書をお持ちの方は、そちらをご使用ください

1. 窓口配布

- (1) 配布場所 北海道建築士会本部及び道内34支部
- (2) 配布時間 午前9時30分～午後5時00分（ただし、土曜日、日曜日、祝祭日は除く。）

2. 郵送配布

郵送希望される方は、北海道建築士会本部にお問い合わせ下さい。

3. ダウンロード配布

当会ホームページ（<http://www.h-ab.com/>）からダウンロードできます。

【受講手数料（テキスト代を含む）】 12,960円（消費税を含む） 受講しなかった場合でも返還されません。

■ 受講申込（申込みにあたっては、「受講要領」をよくお読みください。）

1. 受講申込書の受付

- (1) 受付場所 北海道建築士会本部及び道内34支部（郵送による受付も行っています。）
- (2) 受付時間 午前9時30分～午後4時30分（ただし、土曜日、日曜日、祝祭日は除く。）

2. 受講申込の方法

(1) 受付会場での受講申込

受講申込書に必要事項を記入し、必要書類を添付の上、建築士会本部・道内34支部へ持参してください。

※受講票は、本部（下記参照）に持参の場合は、申込書と引き換えに発行します。支部持参の場合は、後日郵送します。

(2) 郵送による受講申込（締切日の消印のあるものまでが有効）

受講申込書に必要事項を記入し、必要書類を添付の上、建築士会本部へ必ず簡易書留で送付してください。

※受講票は、後日郵送いたしますので返送用封筒（長3）に切手（82円）を貼り、あて先を明記して同封してください。

【お問い合わせ・申込書郵送先】 一般社団法人北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地大五ビル6階

電話011-251-6076 ホームページ→ <http://www.h-ab.com/>

平成26年度 第三期・四期 建築士定期講習（予定）

詳細日程については、「北海道建築士」8月号にてご案内いたします。

	開催日	講習会開催地	受付期間
第三期	10月	函館市	8月25日（予定）～定員次第
	11月	旭川市・室蘭市・札幌市	
第四期	27年1月	札幌市	
	2月	釧路市・函館市・北見市・帯広市・旭川市	
	3月	苫小牧市・札幌市	

まちづくり委員会 平成25年活動報告

副委員長

鈴木 利治 (恵庭支部)



平成25年のまちづくり委員会は下記の内容で活発な活動を行いました。

○第3回まちづくりフォーラムin滝川の開催

第1部「ちびっこ建築士」：空知支部滝川分会青年部主催の小学生を対象とした住宅模型づくりに参加して模型づくりの指導をしましたが、我慢しきれずに自分たちが製作に没頭してしまう人もちらほら……。模型完成後は子供達にちびっこ建築士免許証を授与して子供達も大喜びでした。将来、建築士の卵になってくれることを期待しました。

第2部「まちづくり会議」：滝川で積極的にまちづくり活動を行っている数団体に活動内容を説明していただいた後に、パネルディスカッションを行って現状の問題点や改善方法などを話し合いました。フォーラム終了後は松尾ジンギスカン本店で美味しいジンギスカンを食べながら、滝川の今後のまちづくりについて熱く語りました。

○全道大会(恵庭大会)B分科会の開催

テーマ：「まち「庭」.com」

恵庭はガーデニングのまちとして有名ですが、実は交通の便が良いことから企業や工場も多いまちです。庭園による工場緑化や市民向けのビールイベントなどを通して、まちづくりに積極的に取り組んでいるサッポロビール北海道工場副工場長の中村真典様に企業とまちの在り方などについて講演していただいた後、バスで工場や道の駅、ガーデニングが盛んな恵み野団地などを見学して、まちあるきを行いました。バス利用者が登録者人数以上になり、バスに乗れない人も大変ご迷惑を掛けてしまいました。

○景観整備機構に向けての取組み

道建設部まちづくり局との意見交換を行いました。道では建築士会に景観整備機構の指定申請を期待しているとのことで、早急に建築士会側の体制づくりが求められます。また、札幌市も建築士会に景観整備機構への申請を期待していることから、景観整備機構としてどのような活動が出来るのか、どのような取組みが必要なのかなどの検討を進めて今年度中に申請手続きを行いたいと考えています。

その他にも、「高校生建築デザインコンクール」、や「高校生建築甲子園」への取組みを行いました。

最後に、退任される本吉委員長、佐藤副委員長、その他数名の委員の方々には色々と教えていただきながら、有意義で楽しい時間を共に過ごせたことに大変感謝しております。お疲れさまでした。

情報委員会

会員、支部間の交流活性化に向けて

委員

高松 徹 (上富良野支部)



過日、新メンバーによる第1回委員会を開催し、今年度の会誌の内容、HPの企画運営、会員作品展、全道大会分科会等について話し合いました。

情報発信の要である会誌は、「情報は新鮮なうちに」との思いで毎月発行して4年目を迎えました。情報の選択は勿論ですが、まずは会員に手に取り開いてもらうには？という視点で話し合い、出た意見は既に先月号に反映されており、今月号にも目を引く新しい変化があると思います。今年度は「わくわくする」「次号が待ち遠しい」をキーワードとして会誌づくりを進めて行きます。

HPの企画では、道士会からの発信はもとより「うちの支部はこんな事業をやっています」「他支部の活動を参考にしたい」という思いに応えるため、誰でも簡単に支部の活動状況を発信出来る統一フォーマットを準備しています。手軽な発信によって支部間交流が活性化されることを願っています。

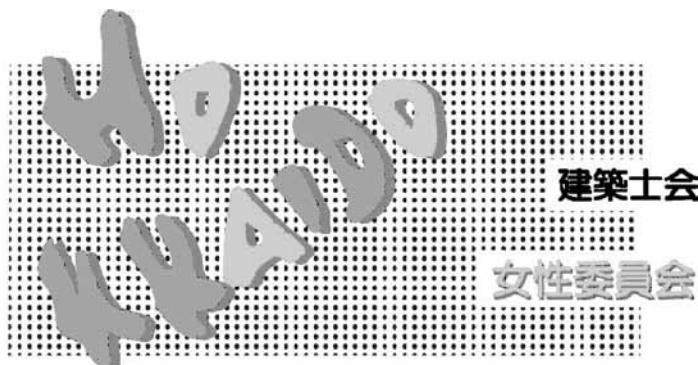
また、会員作品展ですがこれまで2回の応募状況はいまひとつ…、といったところです。“敷居を高く感じている”とか“作品募集を知らない”とか、原因は様々かと思えます。しかし、自分が関わった建物に何の思い入れも無い人はいない筈です。“ここ”が苦勞したのだ、“ここ”を見てほしいのだ！という部分が絶対あると思います。応募動機はそれで充分です。この企画は会員の「作品を見てもらえる場がほしい」という声から生まれました。何とか継続して行きたいものです。

さて、今年度の全道大会は旭川です。私自身は情報委員会が7年目で、これまで幾度の分科会を行ってきました。各大会にはテーマがあり、そこで“情報”委員会としてどのような関わりを持った分科会を行い、会員に何をもち帰ってもらい、委員会は何が得られ、それは士会の活性化に繋がって行くのか。分科会テーマについては都度、時のメンバーで悩んできました。今年も題材は幾つかありましたが、“情報”委員会が行う意義、理由を整理しながら実施に繋げていくにはもう少し時間がかかりそうです。

札幌での委員会は年4回から2回となり、その分カメラを使ったウェブ会議やMLを駆使して情報と認識を共有していく必要があります。抱える課題は多々ありますが、神田委員長他全委員が会員にとって、士会にとって、今すべき事は何か。常に問題意識を持っていなければなりません。

…なんて、言うのは簡単ですが。まあ、気がついた事、出来る事から一歩、一歩と。

No. 65



平成25年度北海道高等学校 産業教育実技講座(家庭)の報告

道央Aブロック 早川 陽子

1月14日(火)から4日間、「平成25年度 北海道高等学校産業教育実技講座」(主催：北海道教育委員会)が旭川市の北総研にて開催、全道から6名の高校家庭科担当教諭が参加されました。講座の目的は、これからの授業に必要な知識と技術を習得してもらうものです。そのうち半日の講座を女性委員会の米本、齋藤(旭川)、早川(小樽)が担当しました。

■講義「高等学校における住教育のありかた」

～高校時代に学んで欲しいこと～

- ・家の大切さと衣食住の関係
- ・私の育った家(居場所)
- ・ライフステージ・ライフスタイル
- ・北海道の住宅史
- ・賢い消費者として

約1時間、興味深かったのはそれぞれメモを取る所が違ったこと。そしてやはり女性、インテリアへの関心は高いようでした。

今後は、先生たちの興味のある分野を授業の中に上手くつなげてゆくアドバイスが出来たら良いと思いました。



■演習「私らしい住まいの設計」



高校生向けの家庭科住教育出前講座「私らしい住まいの設計」を先生たちに体験してもらいました。

最初に立地条件、建物概要、ゾーニングの説明をし、間取りの作成はマンツーマンで進め、居住地の選択、光と風の取り込み方、動線や収納の計画など約2時間で完成。発表は、自らの暮らし方を大切にしたい個性ある設計で、完成度も高いものでした。プレゼンテーションは説得力が抜群で、さすが先生と感心しました。

後日の感想から、「授業への応用やヒントが得られた」、「豊に暮らす視点を生徒に伝えたい」、「実習は記憶に残るので専門家のアドバイスが欲しい」等、私たちも課題をもらいました。

教育する側の方たちとの関わりは「子どもと建築部会」の目標の1つでした。今後は、今までの経験を生かし新たな活動へと発展させたいと思っています。

防災お料理講座の開催

釧路支部 山崎 景子

釧路支部では「かんたん防災お料理講座」と銘うち、被災したとき、また、災害に備え備蓄した食品の入れ替えのときに美味しく食べることができるお料理を！と釧路短期大学講師でいらっしやる佐々木可菜恵先生を講師にお招きし2月22日に開催いたしました。

日頃より地震が多い釧路。また先日の豪雪による災害も記憶に新しいこともあってか、皆さんの受講する姿は真剣そのものです。



レシピを確認する皆さん

メニューは全10品で、ポリ袋を使って煮た(炊いた)ごはん、おかゆ、イカの煮付の缶詰を使ったイカ飯風ごはんはとても美味しく、あさりの水煮缶と干し椎茸を使ったスープやトマト缶とサバの水煮缶を使ったトマトソース煮など、乾物や缶詰など家庭に常備している食品が簡単に美味しいお料理へ。また、乾パンはお洒落なデザートティラミスへと美味しく大変身！普通にお家でのおもてなし料理としても活躍できるレシピで私自身とても勉強になった内容でした。おまけ講座として、空き缶と食用油などを使ったコンロとしても使えるキャンドルを作ったり、津波や吹雪による災害への対処方法や連絡先などについての話を配布したパンフレットを見ながら皆さんに聴いていただくことができました。

この講習会が少しでもご家庭での防災意識を高め見直すきっかけになってくれたらと期待します。

千歳支部

千歳へお越しの際には…

事務局員

宇野 真市



事務局員になって、早2年。事務局の仕事もひとつお覚え、軌道に乗ってきた今日この頃です。

さて、千歳支部は、今年、役員の改選時期で、副支部長が新たに選出され、また、部会の青年部長も新たに選出となり、新体制で動いています。

新体制のもと、今年も各種勉強会や研修会、親睦事業を計画していますが、千歳支部最大(?)の事業が親睦事業となっています。

「建築士の日」に併せて、市内で7月に開催されるイベントに屋台を出店し、街の活性化に寄与するとともに、会員同士の親睦を深める大切な事業で、昨年はイベントへの出店が1日限定でしたが、今年は、(出店エントリーが認められれば)グレードアップして3日間の出店になる予定です。

千歳市内では、7月から8月にかけて、各種イベントが開催され、市内の各世帯には「夏まつり」と称して各イベントを紹介するA5版の冊子が配布されるぐらい多くのイベントが開催されます。

夏に千歳へお越しの際は、街の中をぶらっと散策してみてください。何かしらのイベントが開催されているはずですよ。



昨年のイベント出店様子

士別支部

士別雪まつり

事務局長

佐藤 将吾



特定豪雪地帯に指定されている士別の2月初旬に「士別雪まつり」は開催されます。士別雪まつりの歴史は古く、北海道では札幌雪まつりに次ぐ歴史を持ち、来年で60回の節目をむかえるという由緒ある?雪まつりでもあります。

本年も2月8日・9日に行われましたが、8日の士別は最低気温-32℃、日平均-23℃!強烈な寒さのなか、屋台村や少年雪中サッカー大会、移動動物園など様々なイベントが行われました。

なかでも一番の盛り上がりを見せるのが本年度15回目を迎える「国際雪ハネ選手権」です。1.8m四方の箱に詰まった雪を、4人の選手が交代で「はね」出し、底にあるコンパネの下にある旗を取り出す時間を競う競技です。



参加者は、北海道内外から様々で、時にはボビー&武蔵の「なにこれ珍百景チーム」まで優勝賞金30万円と金のスコップ獲得を目指し激しい戦いが繰り広げられます。また、パフォーマンス賞を目指す仮装チームもあるなど応援するだけでも面白く、当支部のメンバーも過去に参加し大会の盛り上げ役に徹したと聞いております。

道内の建築士の皆様にも、士別の雪まつりで「国際雪はね選手権」に参加され、賞金で士別の夜の街も堪能されることをお待ちしております。

釧路支部

折り紙建築活動が定着してきました

事業委員長

下元 英徳



折り紙建築を使った活動は地道に少しずつ釧路支部の活動として定着してきています。

地域活動に少ない人数でも参加し続け建築士の知名度や仕事に対する理解度を上げてゆく手法の一つとして折り紙建築を続けています。最近はおかげさまで各団体からのオファーも多く逆にスタッフさえもっと集まることができたらどこにでも出向いてゆける知名度にあがってきています。

代表的な活動では「くしろ子ども未来塾」という市内3拠点のある核となるコミュニティ施設の有効活用を目的としたイベントへの参加です。書道や絵画、算数や鉄棒、日本舞踊に空手など地域の大人たちが集まり地域の子供たちと触れ合う活動の一角に折り紙建築のブースを出しています。

いろんな形の建物を想像したり色を塗ったり体験し「こんな家ができたらいいね!」参加している親子に即建築を知ってはもらえませんが、創造のお絵かきの延長に設計があるのだと何となく理解してもらい、楽しく建築に触れ合ってもらえたら嬉しいなと思っています。

建築士が世の中に必要とされるためにわかりやすく理解され多くのオファーを受ける建築士になることが後輩を育て仲間を増やす環境が出来ると信じています。折り紙活動にはなにかそのヒントがあるのではないかと考えています。



折り紙建築

道士会の動き

道本部の主な会議報告（3月）

- ◆第1回 理事会
 (開催日) 3月13日(木)
 (議題) ※議題については、すべて承認済
 1) 平成25年一般会計事業報告及び収支決算について
 2) 平成25年特別会計事業報告及び収支決算について
 3) 平成26年通常総会の開催について
 4) (一社)北海道建築士会顧問及び相談役の推薦について
 5) 「(一社)北海道建築士会会員の旅費支給規則」の改正について
 6) 第39回全道大会テーマコメントについて
 7) 第40回全道大会開催地について
 8) 北海道建築士会継続的な能力の開発の促進に関する規則(CPD規則)の改正について
 9) 定款第6条に基づく会員の入会承認について
- ◆第1回 総務委員会
 (開催日) 3月1日(土)
 (議題)
 1) 平成26年総務委員会事業計画及び予算について
 2) 第39回全道大会(旭川大会)について 他
- ◆第1回 被災地応急支援特別委員会
 (開催日) 3月1日(土)
 (議題)
 1) 実施体制設備方針の策定について
 2) 北海道建築士会による震災建築物応急危険度判定士整備方針(案) 他
- ◆第1回 まちづくり委員会
 (開催日) 3月8日(土)
 (議題)
 1) 平成26年事業計画について
 2) まちづくりセミナーについて 他

道本部の主な行事予定（4月）

- ◆二級・木造建築士試験受付
 札幌：4月10日(木)～4月14日(月)
 旭川・函館・釧路・室蘭・帯広・北見：
 4月11日(金)・14日(月)

関係機関等会議出席状況（4月）

- 4月3日(木)
 建築関係5団体(J5)認定資格懇談会(東京)
 高野会長出席
- 4月4日(金)
 日本建築士会連合会CPDプログラム評議会(東京)
 高野会長出席

編集後記

陽ざしも輝きを増す4月。新学期、新入社員など新しいことが始まる季節です。情報委員会の新人、早川です。

定時総会にて26、27年度の理事、幹事が選出され、新役員も決まり、北海道建築士会は62年目に向かいます。

会誌は200号を迎え、委員一同気が引きしまる思いです。今号から見出しカラーが季節ごとに変わります。これから美しくなる北海道の「緑」をイメージしました。

情報委員会 早川陽子

CPD認定プログラム（3月認定）

- ◆「避難所HUG」研修会
 《日程及び会場》平成26年4月12日(土)
 13：30～16：30
 北農健保会館（札幌市）
 - 《単位数》 3単位
 - 《問合せ先》 (一社)北海道建築士会 札幌支部
 TEL. 011-232-1843
- ※消費税率改定にともないCPDデータ管理費など金額が変更になりました。詳細につきましてはHPをご覧くださいか本部事務局までお問合せください。

被災地応急支援特別委員会からのお知らせ 北海道建築士会主催 震災建築物応急危険度判定机上訓練(日高)

被災地応急支援特別委員会では、実際の派遣に戸惑うことがないよう実践的な「机上訓練」を行います。対象は建築士会会員で応急危険度判定士の有資格者。参加申込方法等、詳細については「北海道建築士No.201」5月号または、ホームページでお知らせします。

- 開催日 平成26年5月17日(土)
- 開催場所 新ひだか町公民館
 (日高郡新ひだか町静内古川町1丁目1-2)
- 開催時間 14：00～16：30(予定)
- 参加者人数 50名程度
- ※受付は5月から行います。

平成26年 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしてみませんか。応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.205」に掲載します。多くの会員の応募をお待ちしています。

応募締切 平成26年5月23日(金)必着
 ※応募要項など詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。第1回、2回の作品も見ることができます。HP <http://www.h-ab.com/>

図書案内

《消費税率変更対応による4月1日以降の定価について》
 消費税率が改定にともない、本部販売図書の定価が変更になります。

民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款

◎定価：723円(税込)

四会連合協定建築設計・監理等業務委託契約書類

◎定価：1,234円/会員価格：926円(税込)

※その他図書については、本部事務局までお問合せください。

情報委員会委員長／神田 光英
 副委員長／斎藤 勝哉・早川 陽子・森 勝利
 委員／高松 徹・熊谷 智・柳山美保子

北海道建築士 No.200号

印刷 平成26年3月／発行 平成26年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011)251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011)811-7151番